

平成29年度 安曇野市障害福祉運営委員会（第1回）会議概要

1	審議会名	第1回安曇野市障害福祉運営委員会
2	日 時	平成29年8月21日 午後1時30分から午後3時30分まで
3	会 場	安曇野市役所 401会議室
4	出席者	木下委員、赤沼委員、輪胡委員、丸山委員、越原委員、輪湖委員、竹澤委員 望月委員、新井委員、内川委員（代理：中野委員）
5	市側出席者	花村福祉部長、細萱福祉課長、高橋障がい福祉担当係長、深井障がい福祉担当係長、小笠原障がい福祉担当係長
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成29年8月31日

協 議 事 項 等

1 会議概要

(1) 開会

(2) あいさつ

(3) 委嘱書交付

(4) 自己紹介

(5) 協議事項

① 安曇野市第3期障害者基本計画（案）第1部序論について

② 安曇野市第3期障害者基本計画（案）第2部障害者基本計画について

(6) 連絡事項

(7) 閉会

2 協議概要（質疑応答）

(1) 安曇野市第3期障害者基本計画（案）第1部 序論について

委員：地域資源図表-11中の括弧中の数字は何か。

事務局：基準該当事業所の数である。

委員：障害者基本計画、障害福祉計画、障害児福祉計画の三計画を一体的に策定するようになっているがどうなっているのか。

事務局：今回の運営委員会では、まず障害者基本計画について検討を行い、次回障害福祉計画と障害児福祉計画について検討をお願いしたい。

(2) 安曇野市第3期障害者基本計画（案）第2部 障害者基本計画について

委員：「合理的配慮」、「ジョブコーチ」、「トライアル雇用」、「UDトーク」の語句の説明をお願いしたい。

事務局：「合理的配慮」については、平成28年4月より施行された障害者差別解消法の中に「不当な差別的取扱いの禁止」と「合理的配慮の提供」が定められている。障がいのある人が困っている時に、その人の障がいに合った対応をすることである。

「ジョブコーチ」については、障がい者が一般企業へ就職した場合、一緒に職場に入って悩みを聞きつつ会社との橋渡しをする業務を担う支援員である。松本圏域では2名しかおらず、課題となっている。

「トライアル雇用」については、適性や業務遂行能力を見極めるための試行雇用である。雇用主は奨励金を受け取ることができる。

「UDトーク」については、音声翻訳ソフトのことで、音声を認識して文字化することができる。聴覚障がい者や外国人との会話の手助けになる。昨年より福祉課窓口に設置した。

委員：今回の計画は前回の基本計画を土台としているのか。

事務局：基本計画の基礎は変わらないので、そこに新たにできた制度等、例えば障害者差別解消法などを加えて策定したい。

委員：合理的配慮をどのように民間事業者へ広げていくのか。

事務局：行政においては合理的配慮が義務となっているが、民間事業者は努力義務となっている。合理的配慮の提供に向けた取り組みを推進すると共に、民間事業者へ合理的配慮の提供を働きかけていきたい。

委員：支え合いマップを作っても見ることができない状況であるが、どうか。

事務局：支え合いマップについては、各区によってやり方が違っている。役員だけが持っている区もある。個人からもらう承諾書には区民全員に公開して良いとはなっていない。区役員、民生委員、警察署、消防署の限られた人だけにしか情報がいかないようになっている。その代り非常時には誰が誰を援助するのか決めている。

委員：民生委員や区長に配布されているが、守秘義務がある。区によって助けに行く方法が違う。

事務局：支え合いマップについては、地域福祉計画の中で検討しているので、そちらで詳しく記述していきたい。

委員：特別支援教育の学校教育との繋がりはどうか。

事務局：特別支援教育を行うために学校の先生は研修を受けている。専門性を深め特別支援や養護学校の先生になっている。

事務局：今日欠席している委員から次のようなご意見をいただいている。

障がい者の親亡き後の問題について、さらに具体的な取り組みをしていただきたい。

障がい福祉と介護保険の連携が地域の繋がりとして見える形をイメージできるものとなれば良い。

委員：財源の確保の項目で、適正な利用者負担の設定とは具体的に何か。

事務局：制度で決められた今までどおりの利用者負担をいただき、限りある財源を有効に使っていくということである。

委員：計画中の文章を変えた方がよい所が2か所ある。「福祉教育の推進」の項目の「訓練事業」を「療育支援」に、「特別支援教育の推進」の項目の障がい名をもう少し詳しくした方がよい。

委員：サービスを提供する側と受ける側との意見交換ができる場を設定して、サービスの向上を図ればよいと思う。

委員：家族だけでなく地域で支えることが必要である。介護に携わる職員のマンパワーが不足しているので、育成していくことが必要である。

委員：相談支援の職員のマンパワーも不足している。また、人数も少ない。

委員：施設の地域貢献が求められているが、今後地域に出て合同防災訓練を考えている。

委員：基本目標3つを実現できるように行ってほしい。

委員：精神障がいは見た目では分からない。家族がなかなか声を出せないでいる。親亡き後、地域で支える支援環境を整えてほしい。精神障がいへの理解に関する啓発活動に力を入れていってほしい。

委員：安曇野市在住の生徒数が安曇養護学校全生徒の50%を超えている。児童発達支援センターが設置されるとよいと思う。

### (3) 連絡事項

#### ○今後のスケジュールについて

- ・障がい関係団体懇談会 9月20日(水)午後1時30分から開催予定
- ・障がい福祉サービス事業所へのアンケート 9月から実施予定
- ・第2回障害福祉運営委員会 11月20日(月)午後1時30分から開催予定
- ・第3回障害福祉運営委員会 3月中旬開催予定